

令和7年度一般会計当初予算編成における財源不足の解消について

1 財源不足の状況

予算編成方針を示達した9月時点では、約182.5億円の財源不足が生じましたが、予算要求締切後の11月時点では、各部局の要求内容の精査により95.5億円の財源不足となりました。

(令和6年11月12日時点)		(億円)
歳入	歳出	財源不足
1,802.2	1,897.7	95.5

2 財源不足解消への対応策

(1) 歳出縮減策（主な事業は次ページに掲載）

要求事業費の見直し及び精査等のほか、国の補正予算による国庫支出金の活用による令和6年度2月補正予算への前倒しなどにより、80.0億円（一般財源62.9億円）の縮減を図りました。

(億円)		
	歳出縮減額	うち一般財源
① 事業の見直し・優先順位付けによる縮減	24.3	23.3
② 2月補正への前倒し実施	17.1	3.6
③ 要求の精査による縮減	38.6	36.0
合計	80.0	(A) 62.9

(2) 歳入確保（財源対策）

歳出事業に合わせて市債等の特定財源を活用するとともに、市税収入見込みの時点修正及び国の地方財政計画を踏まえた精査を行い、さらに財政調整基金を12億円繰入れること等により、32.6億円の財源対策を図りました。

なお、財政調整基金については、令和7年度当初残高が令和6年度当初と比較して20億円減の約74億円となる見込みです。

(億円)				
	予算要求 時点	予算案	差額	要因
市税	894.4	894.3	△ 0.1	
市町村振興資金貸付金	0.0	1.9	1.9	地方債充当残額に充当
地方創生臨時交付金	0.0	2.9	2.9	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用
地方消費税交付金等	158.0	173.9	15.9	地方財政計画等による
財政調整基金	28.0	40.0	12.0	
合計	1,080.4	1,113.0	(B) 32.6	

財源不足額95.5億円は、歳出縮減（A）及び歳入確保（B）により解消し、収支均衡した予算を編成しました。

以 上

（事務担当 財務部財政課）

＜歳出縮減策の主な事業＞ ※金額は事業費

① 事業の見直し・優先順位付けによる縮減

- ・（小学校給食無償化） △10.2億円（一般財源負担分）
国の動向等及び本市の財政状況を踏まえ実施を見送り
- ・（八ヶ岳野外体験教室整備事業費） △2.5億円
一部の施設の改修工事等
- ・（学校施設環境整備事業費（小・中）） △1.9億円
一部の小・中学校における各改修工事等
- ・（諸整備費事業費（小・中）） △1.9億円
一部の小・中学校における各改修工事等
- ・（住宅環境整備事業費） △1.8億円
一部の市営住宅の改修工事等
- ・（スポーツ施設整備費） △1.5億円
一部のスポーツ施設の改修工事等

② 2月補正への前倒し実施

- ・（学校施設環境整備事業費（小・中）） △13.7億円
国の補正予算に伴う小・中学校における各改修工事等
- ・（村岡地区都市拠点総合整備事業費） △1.2億円
国の補正予算に伴う村岡・深沢地区土地区画整理事業

③ 要求の精査による縮減

- ・（各種予防接種費） △9.3億円
接種者数の直近の実績等に基づく見込みの精査等
- ・（介護給付費等事業費） △4.0億円
直近の実績等に基づく見込みの精査等
- ・（児童手当費） △3.2億円
直近の実績等に基づく見込みの精査